

- ツアーとしてみると今帰仁城の説明がとても長く雨と風も激しかったのでそのような場合は言いにくくてもガイドを止める対応も必要だと思いました。伝えたいことはいっぱいあってありがとうございますがああ激しい雨のなかでは止める決断も必要だと思います。またホテルについてはターゲットが30代以降としましたのでもう少し対応の良いホテルが良いと思います。良いホテルを知っている世代がターゲットかと。2日目夜窓から水が漏れてきたのは驚きでした。広さとバストイレ別であることはとても良かった。ホテルの夕食は美味しくなかったのが天気のせいだと思いますが2日目の夕食は微妙すぎました。店員さんが全体に活気がないところもあり気になりなした。
- 若い方に来てもらうためには、それなりの整備（海関係の遊具やダイビングスポット、食事場所、食事の内容、ホテルの整備、オーシャンタワーのような新しい観光スポットなど）が必要。ただし、個人的には変わって欲しくない場所です。
- すべての年代層を受け入れる場合には、今帰仁、伊是名、伊平屋全体の観光産業関係者の受け入れ態勢の改善が必要。
- 商品として売り出す場合は、フェリー欠航の場合「キャッシュバック」がある事ハズレの無い「美ら海水族館」に行ける事を明示して欲しいと思います。私がモニターツアー前に不安に思っていた事はフェリーが運航するかどうかで欠航の場合つまらないのではないかと。欠航しても楽しめたという口込みをツアー募集ページに乗せておくことで少なからず不安は取り除けるのではないのでしょうか？あとホテルじゃなくてプライベートビーチが目の前にコテージっていう事も魅力の一つだと思いました。

※アンケート結果の詳細は、別冊「資料編」に掲載。

第2回目

- （調査概要）

モニターアンケート調査は、今回実施したモニターツアーについて、参加者から評価をいただき、ツアーの商品化に向け今後の取組みの参考とするために評価点や改善点の抽出を目的とするものである。

- （調査方法）

調査方法 : ツアー参加者に直接調査票を配布し、FAX、E-Mail、郵送で回収

調査対象 : モニターツアー参加者 22人 うち幼児2名（回収サンプル19）

調査期間 : 平成28年1月30日（ツアー開始日）～2月12日（回収期日）

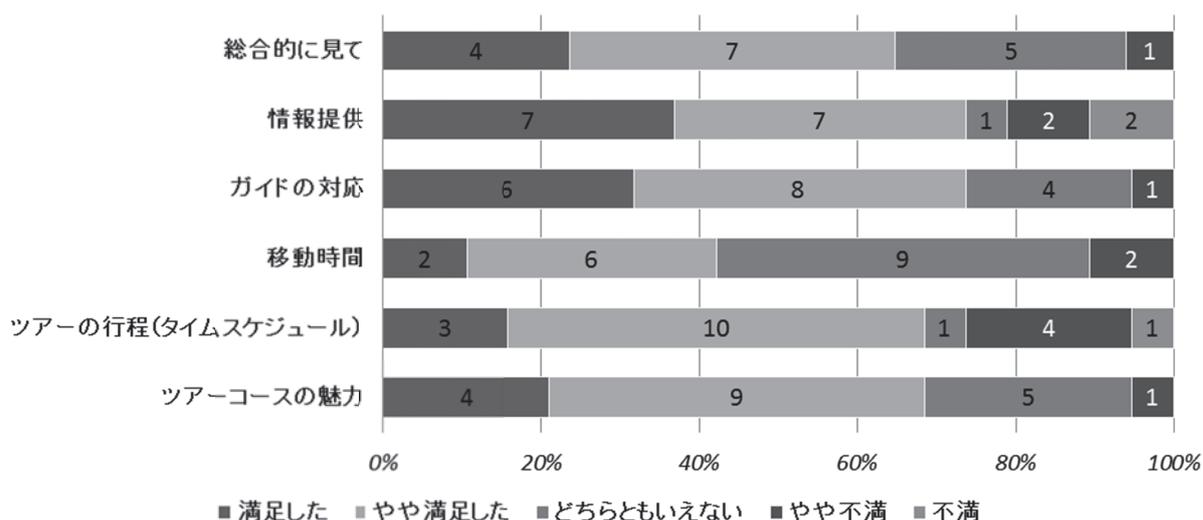
- （調査結果） 抜粋

Q: ツアー全体についての満足度

ツアーの満足度について、総合的には6割強が「満足した」、「やや満足した」と答えている。

項目別にみると、「情報提供」、「ツアーの行程」で、「不満」との回答が出ている。特に、「移動時間」については、「満足した」「やや満足した」は半数以下になっている。

図 ツアーの満足度(2回目)



Q: 力を入れるべきサービスや改善点 記述回答（抜粋）

第2回目は、伊平屋島、伊是名島に渡ることができたが、食に対するこだわりや、宿泊施設に対するきめ細かいサービスについての意見が多くあった。

また、移動時間に関する満足度が低かった。2泊3日という行程の見直しとともに、時間を感じさせない周遊プログラムなどが必要であることが受け取れる。

- 改善点→もっと乗りごちのいいバスでないと腰が痛くなる。
- 力を入れるべきサービス→料理（ウチナーグルメ）は目玉になると思います。
- オンシーズンなら海の美しさを前面に出すと良いと思います。
- 改善点はバス、人数設定、売りは美しい自然、祭り、イベント、などと組み合わせると更に良いと思う。
- まずはお土産だと思います。安くて買いやすく、おしゃれて美味しいもの。ちんすこうはさほどおいしさもたかがしれてるので、クッキーやワッフルがほんとおいしくて良かったです。食べものにこだわりがあれば、それだけで行く動力になります。なので、食に対しての売りなどをもう少しわかりやすくあればいいなと思いました。
- あとバスに関してはどちらも改善してほしい。
- 歴史もいいですが、ちょっと洞窟やハート岩のようなちょっと足場が悪くても、印象に残るような場所のツアーを重視して欲しいと思いました。
- 伊是名、伊平屋を1泊2日でまわるのは、ちょっともったいないかな…と感じる。どちらかの島を重点的にまわるツアーでもよいのかと。
- 行き帰りのフェリーの閉舟内でのサービス。（売店コーヒーサービスなど）
- 島内の移動方法。（例レンタサイクル等）
- 島内の案内標識及び道路標識の充実。（今回バスで回りましたが交差点などが良く分からなかった）
- 島の名産特産のPRが足りない。お土産を買うのも旅の楽しみです。
- ハート岩へ行く標識、階段砂で滑りやすい。特産品の展示販売、バスのメンテナンス、渡し船の定員数。
- 受け入れる為には宿が大切では？清潔、リニューアルしてはどうでしょうか？
- 笑顔で迎えて笑顔で見送られたいです。又、来たいと思いますね。
- 何回か沖縄は来てますが上記のことが少ないようです。
- 本島でのバスをゆったり
- 食事の好き嫌い
- 買い物（道の駅やJA、お土産）
- ガイドの説明は短く
- 宿泊施設がレベルアップできればすべての人に向く
- ガイド力、ユーモアを持って楽しく旅ができると好印象
- 食事が同じにならない様、調整。
- 宿泊施設の改善
- サーマ付蛇口（風呂）
- ウォシュレット
- 一日目のホテルを変更する。
- 歴史資源観光が多いので、少し減らし体験できる企画を一つ入れる。（泡盛やサトウキビの工場見学があればぜひ行きたいです。）資料館は一か所でよい。
- 天候にかかわらず見学先を追加する。
- ターゲットを中高年とした場合、結構旅慣れているだろうし、それなりに資金力があると思うので、宿泊施設やバスはもう少しグレードアップした方が良いと思う。

- 島の宿泊施設がもう少し良いといいです。せめて網戸の穴は修繕してほしい。
- 天気が良ければ、島内を自転車で回ってみたいと思いましたが、意外と坂が多いので。
- 電動自転車等のレンタルがあれば借りてみたいです。
- まず距離感を感じさせない事でしょうか。
- その点では、今回のツアーは良く考えられたと思います。
- 最初の一日目など今帰仁グスクの夜桜見物など希望者を集め連れて行って貰えればなどと思います。
- しかしまだ未知の素晴らしい場所が有りそうな予感がします。ハート岩など前回行った観光ツアーでは話題にも上りませんでした。
- どうか次のツアーではその一点をツアーに加えてください。
- 複数の人で行くと大浴場も魅力的。(ユニットバスだとその人が終わるまで待っていなければならないから)
- 島のどこでも泳げるのなら、ところどころによくわかるシャワー施設。ビーチからビーチへ行くレンタカー。ちょっとお腹がすいたときに買い物のできる店か民宿のサービス。(廊下のお茶と飴は嬉しかったです)
- フェリー綺麗なので、もっとパンフレットなどで宣伝しては。離島ミステリーって人気でしょう。
- 改善すべき点
空港が欲しい。潜るのに大きな荷物を持っては大変。つい宮古島になってしまう。伊良部大橋もできたし。那覇で乗り継いでいきたい。
- お土産等のお店がもう少しあると良いと思います。
- 家族連れ向きに見て回るだけでなく地元と触れ合える体験や島のビーチ、海を盛り込んだツアーにした方が幅広い年代が楽しめるのではないかと思います。
- 空き家が多いとも聞きましたが(移住するには難しいと思う人にも)カフェ等を利用してレンタサイクル等利用出来ればのんびり島一周島民生活体験エンジョイできる。観光地化すると逆に原風景を求めて訪れるものには興ざめでそのバランスが大事にはなりますが沖縄に訪れるとほとんどの人が「こんなところに住みたい」と南国のトロピカルフルーツも豊富、海がきれい癒される。癒しを求めて来られる方も多いはず。空き家の古民家をウィークリーマンション、マンスリーマンションの様な形態にすると、島民生活が体験でき、海に囲まれて新鮮な魚料理も楽しめそう。

※アンケート結果の詳細は、別冊「資料編」に掲載。

⑥PRツール制作

(パンフレット製作)

- いいなエリアにおいて、歴史や自然を活かしたツアーを内外に向けてPRすることを目的に、エリア内の観光資源や景観等の紹介をはじめモニターツアーの模様などを基にパンフレットを製作した。

仕様 : A4版 全16ページカラー 1,000部

利用方法 : 地域内での周知、旅行社やメディア関係へのPRツールとして活用する



⑦成果と課題

(連携プロジェクトの成果)

■モデルコースが創出された

- 今回のいいなエリアで、「今帰仁グスク桜祭り」の時期(1月21日~2月6日)の時期に合わせ、それぞれの歴史資源をメインで紹介するというテーマのモデルコースを創出した。
- 特に、第1回目は悪天候により島に渡れない事態となったが、代替メニューで対応するなど、1つの代替モデルとなった。いいなエリアで連携する場合には代替メニューの準備がいかに重要か把握できた。

■地域の魅力や改善点が抽出された

- ・ モニターアンケートにより、全体的な満足度は第1回目は「満足した」「やや満足した」が8割、第2回目は6割強であった。ただし、ツアーの行程、移動や宿泊、食事でのきめ細かな対応が求められることなど今後の課題が抽出された。

■プロジェクトチームの協力体制の醸成

- ・ 今回のプロジェクトを3つの村・団体が共同で取組むことで、関係機関のネットワークも醸成された。

(今後の課題)

■ツアー全体のデザイン、ストーリーづくり

- ・ 今回は、「歴史探訪」をテーマとして、旅行社の協力の下でツアーを造成したが、アンケートでは自然景観の美しさをあげる方も多かった。また、3村の歴史や自然景観等の資源を、一つのストーリーとしてつないだ行程で一体感を持たせることが必要である。2泊3日の行程は移動時間等の面から見直す必要もある。

■ガイドの連携強化と育成

- ・ 今回のツアーでは、それぞれの村でガイドが案内役を務めた。現在の所、ガイドの案内は、各自の村内を紹介する流れとなっているが、前述した全体のデザインの中で、ストーリーとしてつないでいくためには、ガイドが相互の資源を知り、ガイド同士の連携により、それぞれの村のつながりを持たせた案内をしていく必要がある。そのためのガイドの共通認識や相互の資源の学習、情報共有、交流の場が必要である。

■「いいなエリア」の認知度向上

- ・ モニター応募の前に伊平屋村、伊是名村を「知らなかった」と答えた人が25名(有効回答34人中)にのぼった。一方で、アンケートの記述では観光地としてあまり知られていない素朴さに魅力を感じている意見も多くみられた。今後、沖縄リピーターが増加していく中で、「いいな」エリアのイメージづけやPRを図っていくことが必要である。

■プロジェクト事務局の明確化

- ・ 今回は旅行社(ジャンボツアーズ)の協力を経てツアーを造成したが、地域主体の取組としていくために、今回のプロジェクトチームに明確な窓口となる事務局を作り、地域側のコーディネートをはじめ、旅行社や航空会社、メディアなど対外的なネットワークづくりや営業・販売活動を行っていく必要がある。

4)東海岸エリア 『東海岸大人の民泊プロジェクト』

①プロジェクト概要(企画概要)

連携プロジェクト名称	東海岸大人の民泊プロジェクト	
市町村／関連団体名	国頭村、東村、名護市、宜野座村、金武町 ※H26 東海岸プロジェクトの継続	
市町村／関連団体名	国頭村、東村、名護市、宜野座村、金武町、合同会社結くにがみ、NPO 法人東村観光推進協議会、久志地域交流推進協議会、一般社団法人宜野座村観光協会、NPO 法人雄飛ツーリズムネットワーク	
代表窓口／実施体制	久志地域交流推進協議会／※H26 の体制から自立型への移行を図る	
現状の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・やんばるの東海岸は西海岸と比較して観光地としての歴史が浅く、知名度もこれからである。また森や川、海などの自然環境、集落散策などを観光資源としており、キャパシティは限られている。 ・観光事業者も小規模事業者が多く、観光コンテンツも個々の地域では限られており、それゆえにプロモーション力が弱い。 ・モニターアンケートより概ね満足との回答が得られたが、ツアー商品としては細部のブラッシュアップや売出し方、情報提供の仕方、ターゲット設定など課題が多い。 	
取組内容	①連携プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・やんばる東海岸は、沖縄特有の自然環境、生活文化が残る場所であり、これらを活かした観光を推進していくため、平成 26 年に東海岸が一体的に取り組む東海岸連携プロジェクトとしてモニターツアーを企画、実施した。 ・各地域とも民泊を推進しており、教育旅行だけでなく大人を対象とした「大人の民泊」をテーマとし、実践的な連携体制と、ツアーの商品化を目的とする。
	②連携プロジェクト(モニターツアー等)概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度のモニターツアーを活かし、商品化確立のためのモニターツアー継続 ・「大人の民泊」をテーマに、平成 26 年度のモニターアンケートの結果をふまえ、ブラッシュアップを行う。
	③ターゲット(モニター対象)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度業務では、観光関連の事業者を対象としたモニターとした。 ・平成 26 年度のモニターアンケートに基づいて、プロジェクトチームでターゲットを設定し、アプローチなどの方法も含め検証する。
	④人数・日数・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度業務の結果を受け、ツアー内容を検討 ・平成 26 年度のモニターアンケートより、やんばる東海岸の移動時間と行程に関する意見もみられており、プロジェクトチームでツアー行程を再検討し、検証する。
実施の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の民泊を観光商品として確立する。 ・やんばる東海岸の自然や生活文化を活かしたブランド化。 	
モニターツアーで検証する内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の民泊の商品化可能性と対策。 ・連携体制の構築。 	
取組み後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の民泊の商品化 ・連携体制を創出し、営業、受け入れまで一連の流れを担う事務局体制の確立。 	

②企画会議の開催経緯

企画会議(1回目)

日時：平成 27 年 8 月 20 日（木）14:00～

場所：北部会館

- 内容：①平成 27 年度の企画概要確認
②平成 27 年度プロジェクト予算額について
③エリア代表窓口
・久志地域交流推進協議会となる
④今後のスケジュールについて



企画会議(2回目)

日時：平成 27 年 9 月 9 日（水）13:00～

場所：北部会館

- 内容：①モニターツアー内容について
②連携する意義・目的について
③モニターの決め方・集め方
④今後のスケジュールについて



企画会議(3回目)

日時：平成 27 年 9 月 14 日（月）17:30～

場所：北部会館

- 内容：①モニター人数、実施時期
②モニターツアー検証内容
③モニターのイメージ像
④モニター募集方法



企画会議(4回目)

日時：平成 27 年 10 月 14 日（水）9:00～

場所：北部会館

- 内容：①モニターの状況確認
②ツアー内容の確認
③広報ツールについて



企画会議(5回目)

日時：平成 27 年 10 月 30 日（金） 14:00～

場所：わんさか大浦パーク

内容：①モニター募集の進捗状況確認
②ツアー内容の確認



企画会議(6回目)

日時：平成 27 年 11 月 11 日（水） 14:00～

場所：北部会館

内容：①モニター募集の進捗状況確認
②ツアー内容の確認



企画会議(7回目)

日時：平成 27 年 11 月 26 日（木） 10:00～

場所：北部会館

内容：①モニターの募集と今後の関連性
②ガイドライン作成について



企画会議(8回目)

日時：平成 27 年 12 月 9 日（水） 9:00～

場所：北部会館

内容：①モニターの割り振り
②ツアー・体験メニューの確認
③東京プロモーションについて



企画会議(9回目)

日時：平成 28 年 1 月 18 日（水） 9:00～

場所：北部会館

内容：①モニターツアーの流れの確認
②プロモーションツール作成について
③東京プロモーション報告

企画会議(10回目)

日時：平成28年2月4日(水) 9:00～

場所：北部会館

内容：①モニターツアーの確認

②パンフレットの案、スケジュールについて

③今後のスケジュールについて



③5町村連携体制

(連携体制図)

- 5町村が連携体制を築き、代表団体及び総合窓口として、名護市にある久志地域交流推進協議会が取りまとめを行った。

図 連携体制図

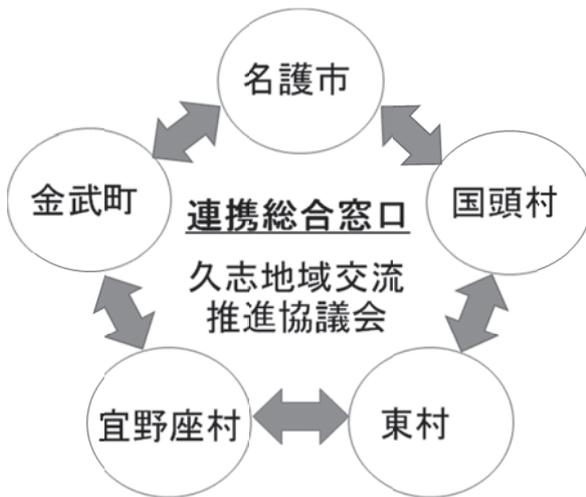


表 連携市町村関連団体名、写真 事務局メンバー

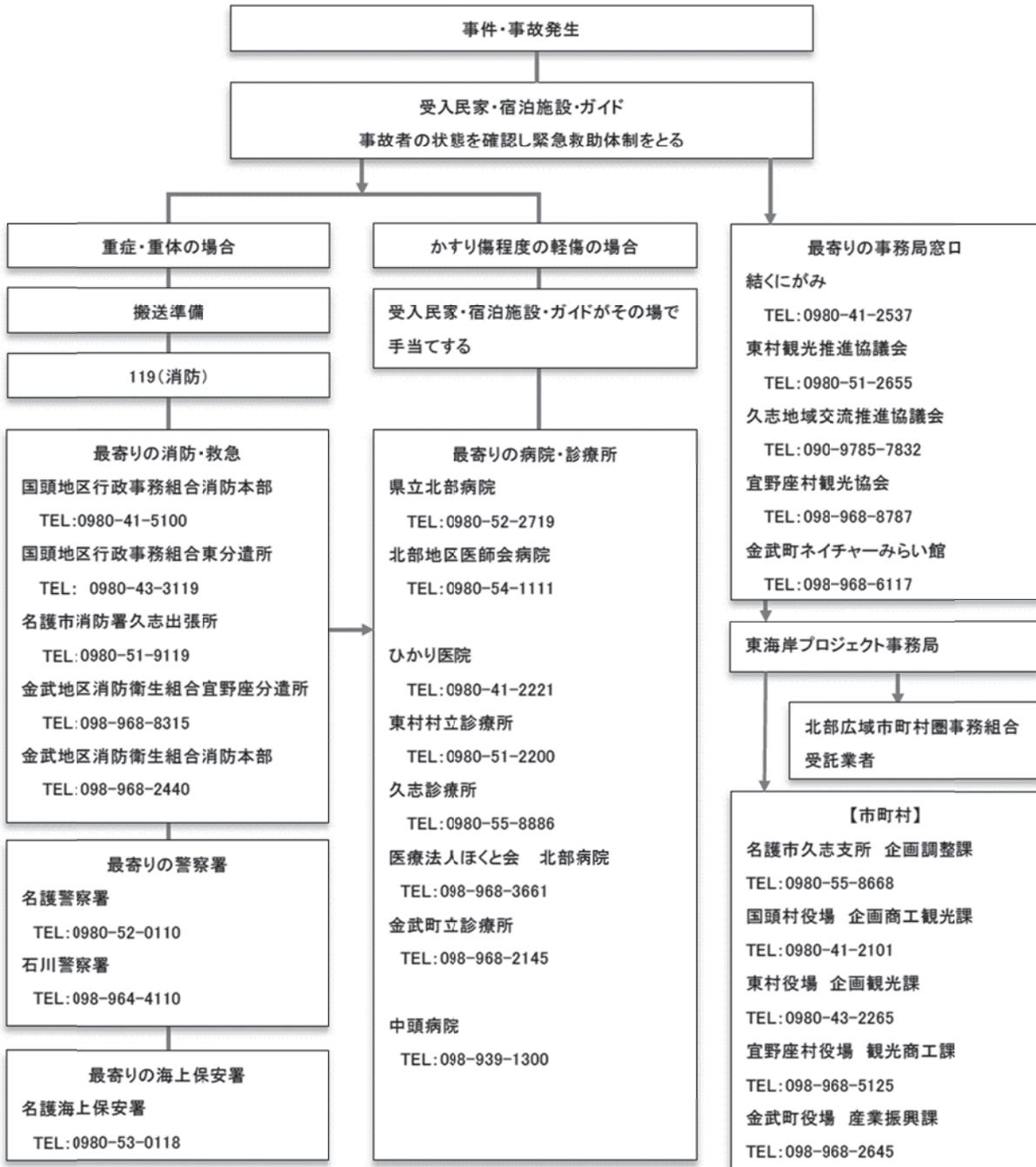
名護市	名護市 企画調整課 久志地域交流推進協議会
国頭村	国頭村 企画商工観光課 (同)結くにがみ 国頭村環境教育センター やんばる学びの森
東村	東村 企画観光課 (特非)東村観光推進協議会
宜野座村	宜野座村 観光商工課 (一社)宜野座村観光協会
金武町	金武町 産業振興課 (特非)雄飛ツーリズムネットワーク



(緊急連絡体制)

- ・ 広域に跨るため、事故発生時には以下のような緊急連絡体制で連携し、受入れ側の周知を行った。

図表 モニターツアー実施中緊急連絡体制図



保険について ツアーご利用のお客様の万一の事故に備えて、障害保険と賠償責任保険に加入しています。保険加入料はツアー料金に含めて事務局で負担しています。内容は下記のとおりです。

1 傷害保険	
死亡・後遺障害	1,718 万円
入院保険金日額	5,000 円
通院保険金日額	3,000 円

2 賠償責任	5,000 万円
3 救援者費用	80 万円
4 携行品(自己負担 3,000 円)	15 万円

④モニターツアー実施概要

(モニター募集)

- モニターは全部で 20 人(男性 16 人、女性 4 人)
- 今年は民泊の商品化を念頭に置き、販売していく中で想定できる課題に対応するため、3つのモニターに絞って募集を行った。
 - ①旅行社モニター:販売先とのパイプづくりや販売社の目線で商品や課題を検討してもらうため。
 - ②雑誌メディア関連モニター:媒体を通して大人の民泊を宣伝し、知名度を上げるため。
 - ③一般募集モニター:口コミや SNS での情報拡散効果を把握するため。

(モニターツアーの内容、行程)

受入れ時期	平成 28 年1月 29 日(金)～3月5日(土)
モニター数	20 人
行程	2泊3日、レンタカーもしくはバス
プログラム内容	モニター:民泊 2 泊、体験プログラム 2 回

- モニターツアーはモニターの都合の良い日程を事務局と調整しツアーを実行した。
- 全モニターに下記のスケジュール表(基本パターン)を配布した。
スケジュールと一緒にモニターツアーの詳細案内について明記されたものも併せて配布した。

(モニタースケジュール)

No	年代	性別	職種	日程	1泊目	体験プログラム内容	2泊目	体験プログラム内容
1	30代	男	旅行社	2/14(日)~16(火)	名護市 久志地域	三線教室	東村	マングローブカー
2	50代	男	旅行社	2/19(金)~21(月)	名護市 久志地域	集落散策	宜野座村	シーカヤック体験
3	30代	女	旅行関連	2/16(火)~18(木)	金武町	シーカヤック	宜野座村	フォトフレーム作り
4	30代	男	メディア	2/13(土)~15(月)	東村	紅型染め	金武町	SUP体験
5	30代	女	メディア					
6	30代	男	メディア	2/8(月)~10(水)	金武町	カーン体験	宜野座村	こちゃ村散策
7	40代	男	メディア	2/19日(金)~21(日)	宜野座村	こちゃ村散策	名護市 久志地域	
8	30代	男	メディア	2/17日(水)~19(金)	金武町	カーン体験	名護市 久志地域	紅型体験
9	30代	男	メディア	2/4(木)~6(土)	東村	SUPヨガ	宜野座村	鍾乳洞探検
10	50代	女	企業研修	2/24(水)~26(金)	金武町	カーン体験	名護市 久志地域	じんぶん学校
11	50代	男	企業研修					
12	40代	男	旅行社	2/12(金)~14(日)	金武町	鍾乳洞見学	宜野座村	シーカヤック体験
13	30代	男	旅行社					
14	30代	男	一般募集	2/20(土)~22(月)	東村	シュノーケリング	東村	海人体験
15	30代	女	一般募集	2/26(金)~28(日)	名護市 久志地域		名護市 久志地域	
16	20代	女	一般募集	2/19(金)~21(月)	東村	マングローブカー	東村	紅型染め
17	20代	男	一般募集	2/27(土)~29(月)	名護市 久志地域		名護市 久志地域	
18	30代	男	一般募集	1/29(金)~31(日)	東村	沖縄そば、 ゆしどうふ作り	東村	
19	30代	女	一般募集	2/9(火)~11(木)	国頭村	ウィンターカーン	国頭村	森散策
20	30代	女	一般募集	3/3(木)~5(土)	東村		東村	

(ツアー写真)

民泊の風景



国頭村



東村



名護市村久志地域



宜野座村



金武町

体験メニュー



カヌー体験



三線体験

⑤モニターアンケート結果概要

- (調査概要)
モニターアンケート調査は、今回実施したモニターツアーについて、参加者から評価をいただき商品化に向け参考とするために評価点や改善点の抽出を目的とするものである。
- (調査方法)
調査方法 : ツアー参加者に直接調査票を配布し、FAX、E-Mail、郵送で回収
- (調査結果) 抜粋

旅行社(モニター参加者 4人)

Q:民泊の良かった点について	
評価点	食事については、地元の食材をふんだんに使用し、ソーキや島豆腐など沖縄らしい食事が良かった。月桃の葉を料理の下に敷くなど演出も良かった。温かい対応や話しかけてくれるのが沖縄の方の人懐っこさを感じ取れて良かった。
課題点	三線や方言を教えるなどするとさらに交流が深まるのではないかと思う。農業体験は沖縄らしい農産物(パイナップル、島野菜など)であれば良い体験になるが、特色がなければ農作業にこだわる必要はないと思う。
Q:民泊の魅力について	
自分が普段暮らしている環境とは異なる生活空間、ライフスタイル、価値観を感じ取ることが出来、一緒に食事をし、話すことで、地元の歴史やそれぞれの人生経験を語り合える場所になりえるのが魅力である。 ありふれた観光スポットではなく、地元の人が昔から知っている地域の魅力を発見できるのが楽しい。	
Q:商品に求められること	
修学旅行の様に人数を“こなす”作業ではなく、参加者の希望要望に沿って、アンケートを取るなり期待に沿う形にすること。 施設や受入れ民家の基準を設け、民泊基準を明確化すること。	

メディア(モニター参加者 7人)

Q:民泊の良かった点について	
評価点	ゆし豆腐味噌汁は美味しいし、レシピを教えてもらったので本土に帰った後でも追体験できたのがとっても良かった。 ホテルにはない生活感を感じられること。地元の人しか行かないようなエリアに入り込めること。
課題点	那覇空港から離れているため、“やんばるならでは”という打ち出しが必要。 金武町は基地問題を生で感じられる場所であり、上手く発信できれば他の民泊と差別化が図れる。

Q:民泊の魅力について	
<p>自分が普段暮らしている環境とは異なる生活空間、ライフスタイル、価値観を感じ取ることが出来、一緒に食事をし、話すことで、地元の歴史やそれぞれの人生経験を語り合える場所になりえるのが魅力である。</p> <p>ありふれた観光スポットではなく、地元の人が昔から知っている地域の魅力を発見できるのが楽しい。</p>	
Q:商品に求められること	
<p>民泊の満足度を高めるためには、事前アンケートで期待していることなどを調べ、宿泊する側のニーズ、期待と民家さんのおもてなしの内容や趣味などマッチングさせることが非常に重要になって来る。マッチングを間違えると民泊の印象が変わり、満足度・金額などに影響する。</p>	

一般募集(モニターツアー参加者7人)

Q:民泊の良かった点について	
評価点	<p>夕食は沖縄料理中心に非常に美味しくボリュームがあり、一番力を入れてくれたようで嬉しかった。一緒に料理を作ることは、作り方を覚えることが出来て魅力的。</p> <p>近所に生えている草を採って天ぷらにして食べたのは新鮮でした。</p> <p>風呂や洗面所、台所も含めて清潔感にあふれ、居心地が良かった。</p>
課題点	<p>トイレ、お風呂、寝室は清潔感を出すのは重要。</p> <p>プライベートな時間と空間が適度にあれば、緊張の糸が張り続けられないので良い。</p>
Q:民泊の魅力について	
<p>宿泊した日に模合があり、地域のお祭りなどの行事に参加できることは非常に有意義である。</p> <p>マッチングが合えば、民家で三線が習える、撮影スポットや風習などを教えてくれるなど、ニッチなニーズに応えてくれるのが魅力である。</p>	
Q:商品に求められること	
<p>民家さんを宿泊する側から選べるようにするなど、マッチングが大変重要であり、民家さんの情報開示をするなどが必要。</p>	

（民泊の満足度）

- 評価ポイント

民泊の満足度は、去年同様に満足度は高い。

項目の「総合的に見て」では、“やや満足した”を含めた満足度が、全員 100%と高い回答をしており、前年度の 90.1%を超えている。

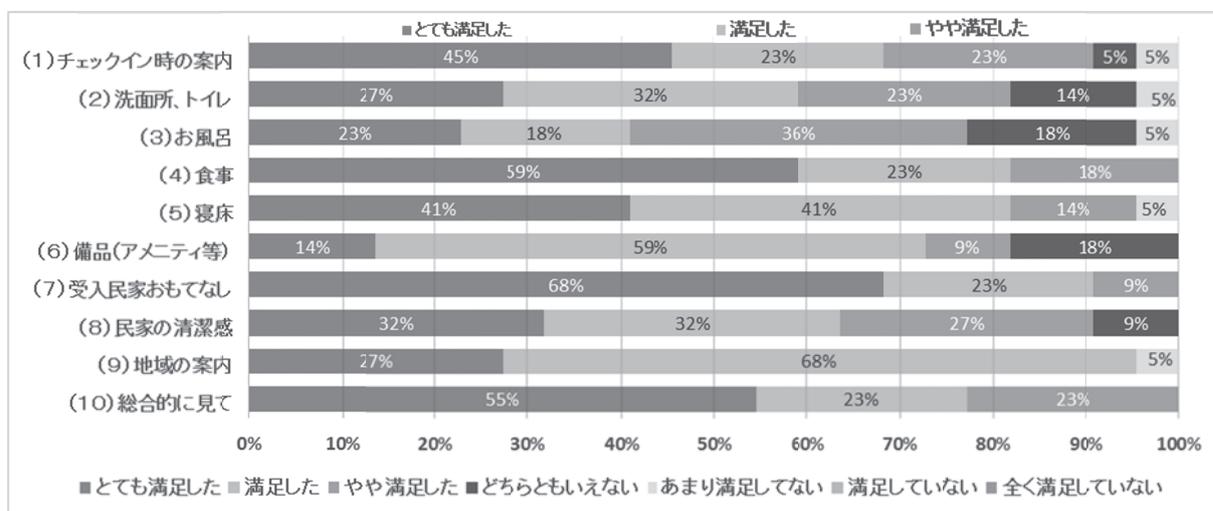
前年度改善項目であった「アメニティ」については、改善をした結果、去年度の、“やや満足した”を含めた満足度の 56%を上回り、82%まで満足度が上がった。

- 改善ポイント

洗面台・風呂については毛がタオルについている等と清潔感を指摘する声があり、洗面所などの水回りなど生活感が出やすい場所については改善の余地がある。

宿泊する側のニーズを聞いてマッチングさせる必要性が多く挙げられた。

時間を決めてプライベートな時間を希望するなど、距離感についての声があがった。



（体験メニューの満足度）

- 評価ポイント

実施されている体験メニューはカヌーが多く、また満足度も高く 100%の方が満足した。

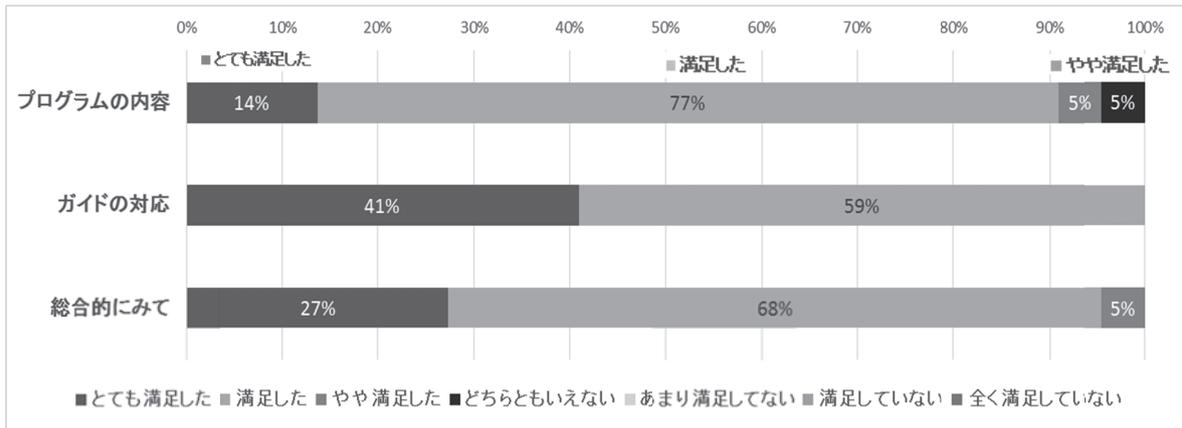
ガイドが上手く、リフレッシュが出来たなどの意見もあった。

実際にやってみると期待以上の満足感があった。

- 改善ポイント

パンフレットの説明が画一的な説明しかなく「やってみたい、行ってみたい」と感じられないものもあった。各村でよく似た内容のものがあり、特徴をアピールした方が良いなど、パンフレットの記載方法についての改善提案が多く出されていた。

パンフレットのメニューに音楽や踊り、ダイビング、シュノーケリング、自転車散策もいれて欲しいという意見もあった。



⑥ヒアリングシート結果概要

- ・ (調査概要)
- ・ ヒアリングシートは、モニターツアー最終日にモニターを各事務局が直接ヒアリングした内容である。ヒアリング内容は7項目あるが、3項目について質問を抜粋。(他は資料編参照)
(記述傾向)

Q1 今回滞在して良かったと感じたことはありますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄料理作り、三味線体験、沖縄の方言などその土地ならではのくらしが宿泊しながら体験ができたことは良かった。 ・基地問題についてもリアルな沖縄の方の声が聞けたことも勉強になった。 ・他の都道府県と違い、沖縄の人は話やすく居心地が良かった。 ・百聞は一見にしかず、民泊への抵抗がなくなりました。 ・色んな沖縄独得の野菜(ニガナ、海のほうれん草)などあり料理が美味しかった。
Q2 大人の民泊はどのような層に向いていると感じますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー層(子どもに色々体験させたいという小学生をもつ30~40代の家族)。 ・田舎のない人達。 ・外国人観光客。 ・旅行に対して観光地そのものではなく交流を楽しみたい人。 ・沖縄の田舎に移住してみたい方。
Q5-1 宿泊費1万円の価格設定についてどう感じますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・民泊の全国相場は1泊6,000円~7,500円/人ではないでしょうか？その中で1万円は高い。 ・1万円は高く、食事は美味しくたくさん出していただいたので十分な価値はありましたが、一般の旅行者からすると1泊1万円を超える時点で料理に特別感を求め始めると思います。 ・季節や誰と行くかによると思いますが、1万円~1万2,000円が妥当かも。 ・1万2,000円くらいまでならいいのではないかと思います。 ・宿泊費(1泊2食)だと高いと感じるが、今回のように5時間ほどでも車を運転していただき現地のガイドをしてくれるのであれば全然高くないと思う。 ・宿泊施設の整い方によって価格の差があっても良い。

Q5-2 価格を上げるためにはどうしたら良いと思いますか？

- ・お皿をやちむんなどにするなど沖縄ならではの演出をし、その土地でしか食べられない食事や食材、古酒が飲めるなどの特典を付ける。
- ・民家によって施設の整い方にばらつきがあるので価格を一律であげるのは厳しいと思う。
- ・企業研修に民泊、観光案内、ゴルフ等をパッケージにしたほうが個別の価格が見えなくなり、販売することが可能ではないか。

(パンフレット製作)

- ・ 東海岸エリアにおいて、大人の民泊を推進していることを内外に向けて PR することを目的に、民泊の内容や、自然環境、景観等の紹介をはじめモニターツアーの様態などを基にパンフレットを製作した。

仕 様 :A4 版 全 16 ページカラー 1,000 部

利用方法 :地域内での周知、旅行社や個人向けへの PR ツールとして活用する

パンフレット表紙・裏表紙



⑦成果と課題

(連携プロジェクトの成果)

■商品化する内容が明確になった

- 旅行社をモニターツアーに入れたことで、商品化するための具体的な内容を把握することが出来た。民家の特徴一覧、品質基準化、細やかなマッチングを行い商品の品質を上げることで他との差別化が図れる。

■メディアによって大人の民泊が宣伝された。

- 沖縄テレビ、ぐるたび、BE-PAL、たびらい、たびカタログなどテレビやWEB、SNSを通して大人の民泊が情報発信され、大人の民泊を知らない多くの方に情報を届けることが出来た。

3月4日沖縄テレビみんなのニュース「キラリ島パワー」

<https://youtu.be/EHmTaJe5kdk>

3月24日ぐるたび民泊記事

http://gurutabi.gnavi.co.jp/a/a_533/

■新たなターゲットの創出。

- これまで一般観光客を中心にターゲットを検討していたが、団体の可能性として、モニターに企業研修講師の方を招聘したことで、企業研修の可能性が示唆された。民泊を通して地域の社会背景などを学び、社員の視野を広げるという方法は面白いと評価を受けた。

■プロジェクトチームの協力体制の醸成

- モニターツアーの企画からモニター募集、受け入れに関する地域調整など事務局メンバーで行い、連携による受入れのノウハウを実践することが出来た。(航空券、レンタカーの手配は旅行社の協力を得て行った。)

(今後の課題)

■マッチングの重要性と商品化

- 今回のモニターツアーで、宿泊する側と民家さんのおもてなし内容をマッチングさせることにより、宿泊者の満足度を高められるということが分かった。マッチングが大人の民泊を成功に導くのに非常に重要な鍵であり、ニーズをつかみ、それをマッチングさせるプラットフォームを検討し、マッチングを商品の特徴としていくことが必要である。

■民家さんの品質基準化

- アンケート調査から得られた改善点として、各民家さんの家屋形態やおもてなしの内容が異なるため、品質基準化が求められている。また、金額を一律にすることも、その家の特徴を出さない限りは難しく、今後ガイドラインなどで基準を明確化し、民家さんの家屋形態やおもてなし等をデータベース化して見える化を行い、基準と料金を体系化することも検討が必要である。
- 基準を設けることによって、宿泊する側にとって理解しやすく、目的に合致するものが選択でき、安心感や満足度を与えることができる。

■プロジェクト事務局の明確化

- 地域主体の取組みとしていくために、今回のプロジェクトチームに明確な窓口となる事務局を作り、地域側のコーディネートをはじめ、旅行社や航空会社、メディアなど対外的なネットワークづくりや営業・販売活動を行っていく必要がある。

5)北エリア 『3村共通パンフレット制作』

①企画会議の開催経緯

企画会議(1回目)

日時：平成 27 年 11 月 24 日（火） 16:30～

場所：北部会館

内容：①パンフレット内容、構成について

②写真の提供について

③今後のスケジュールについて

企画会議(2回目)

日時：平成 27 年 12 月 17 日（木） 10:00～

場所：大宜味村役場

内容：①パンフレット構成について

②今後のスケジュールについて

企画会議(3回目)

日時：平成 28 年 2 月 8 日（月） 10:00～

場所：東村役場

内容：①パンフレット使用用途の確認

②パンフレット製作

- 旅行社へ着地型商品を売り込む際の紹介用途としてパンフレットを制作する。
- 新たに総合窓口、事務局を設置するよりも、各村観光関連団体が窓口となった方が対応は早く、管理運営の面からも窓口は各村観光関連団体とする。

仕 様 :A4 版 全 16 ページカラー 1,000 部

利用方法 :旅行社への PR ツールとして活用する

図 パンフレット表紙・裏表紙



③成果と課題

(連携プロジェクトの成果)

■3村連携による PR ツールが出来た。

- PR や商品造成を促すために制作されたものであり、今後このパンフレットを活用し、旅行社へ3村の営業が出来るようになった。

(今後の課題)

■3村連携の営業活動を行う。

- 「親やんばる」として知名度をあげるため、今後世界自然遺産登録による地域振興に向けて地域一体となった PR 活動を行い、旅行社に対して商材をもって営業を行う。
 ※「親やんばる」とは、北部 12 市町村が「やんばる」というのに対し、国頭村、東村、大宜味村がもともとやんばると言われていた地域であるという意味で、「親やんばる」と呼んでいる。

■総合窓口を検討する。

- 今後、営業を重ねていくうえで、3村の窓口機能が求められる場合がある。窓口機能を持った場合の協力体制などを検討する必要がある。

1-3. 成果と課題

①事業の成果

■連携の促進

- 連携体制の必要性、機能、役割分担などについて、研究会を通してやんばる地域全体のことを考えることで、さらに連携の必要性を認識する機会となった。
- エリア別の取組みを実践し、複数の市町村が協働で取組むことで、相互の人的ネットワークが強化されたこと、また、その中でキーマンとなる人材が見えてきている。
- 研究会メンバーへのアンケート調査では、「連携が進んだと感じる」と答えた人は、100%となっており、エリア別の取組みの継続を望む声が強まっている。

■事業化の課題明確化

- 「(仮称)やんばる観光市町村等連絡協議会」を発足させる方向性が確認された。
- 4エリアにてモニターツアーを実施し、それぞれ事業化、商品化に向けての可能性と課題が明らかになってきた。

②事業の課題

■事務局体制の明確化

- 「(仮称)やんばる観光市町村等連絡協議会」については、自立運営が課題とされており、事業内容、事業規模など採算性の検証を図り、財源をどう確保していくのか、具体的な検証が必要である。
- 各エリア連携プロジェクトにおいては、事業の推進役、旅行社や外部協力団体との調整や地域の受入れや利害関係の調整などエリア全体をコーディネートする事務局機能が必要となる。
- 各エリアで事務局機能を持った場合の協力体制、営業方法、利益配分、負担金などを検討する必要がある。
- 各エリアとも行政、観光協会等の団体など研究会のメンバーを中心としたスタッフで取組みを進めたが、行政間の合意形成を図るとともに、エリア内の宿泊や飲食店、観光関連業者などの事業者、地域住民にもプロジェクトの周知を図り、地域全体の取組みとして浸透させていく必要がある。

■事業化の検討

- 情報発信やプロモーション、ニーズ調査などの取組みを今後継続していくためには事業の採算性を検証し、事業内容、事業規模などの明確化とともに、財源の確保においては、様々な制度の研究に加え、WEBサイト等を活用して、観光客や県民のサポーターを確保していくような取組みを検討する。
- エリア別で取組んだ商品化の検討に伴い、事業採算をシュミレーションする段階であり、窓口含め、何人誘客し、どの規模の商品、市場として考えているのかを検討する必要がある。事業計画が各エリアから商品価格など含めた形で提出が求められる。

第2章 情報集約・発信

2-1. 情報サイトの充実強化

(1)目的

平成 24 年度事業において、情報の集約・発信の必要性があげられ、平成 25 年度にはやんばるの観光情報を発信する WEB サイトを制作し、情報収集・発信の仕組みを作ってきた。

平成 25 年度に制作した WEB サイト(沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト)では、「情報の更新」に重点を置き、最新情報、現地情報の投稿の仕組みを作ってきた。これらの結果を受け、平成 26 年度は情報サイトの充実・強化を図り、新たに Facebook ページの開設、「やんばるイベント」アプリダウンロードの開始、「やんばるの観光」リーフレットのダウンロードの開始(日本語・英語・中国語・韓国語)、「やんばる Drive SHOPPING&GOURMET」ページの開設を行った。

Facebook ページの開設により、最新情報の集約・発信や、観光客のニーズに応じた情報を発信できるようになり、同時に海外にも情報を拡散できるようになった。また WEB サイトでは、記事をカテゴリー別に区分することで、利用者のニーズに応じた情報の提供が可能となった。今後も情報の集約、WEB サイト・Facebook 等を活用した最新情報の提供、国内外の観光客への PR とコミュニケーションの充実、関係団体との相互リンクを拡大するとともに、アクセス数の増加が必要となってくる。

これらの結果を受け、平成 27 年度は情報サイトの更なる充実・強化を図り、アクセス数の増加を図った。

(2)実施概要

平成 25 年度に開設した本事業の専用 WEB サイト「沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト」の充実を図るため、下記の取組みを実施した。

①WEBサイト強化のための取組み

a. Facebook ページ 1 日当たりの投稿数の追加

- Facebook への投稿を1日2回(08:00、19:00)とし、ユーザーへの最新情報の提供に努めた。
- お盆休み、シルバーウィーク等の大型連休時には1日3回の投稿を行い、県外観光客へより多くの観光情報を提供した。

b. Facebook の中国語投稿

- インバウンドへの対応のひとつとして、名桜大学の中国人留学生に協力を依頼し、Facebook の記事を中国語に翻訳して投稿した。

c. WEB サイトの全面リニューアル

- Facebook からの誘導をよりスムーズに行うため、WEB サイトのリニューアルを行った。
- WEB サイト上に記事投稿システムを整備し、それを Facebook と連動させて投稿することで、WEB サイトへの誘導を促進した。

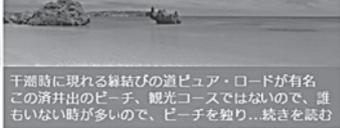
図表 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトトップページ①



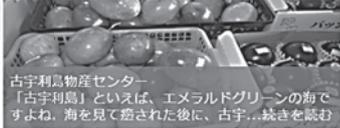
図表 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトトップページ②



センスあふれる新しい雑貨屋さんが名護市営市場年の瀬押し迫る2015年12月、名護市営市場2階に地元の特産品及びオーガニックな...続きを読む



干瀬時に現れる縁結びの道ピュア・ロードが有名この湧井出のビーチ、観光コースではないので、誰もいない時が多いので、ビーチを独り..続きを読む



古宇利島物産センター「古宇利島」といえば、エメラルドグリーンの海ですよね。海を見て癒された後に、古宇...続きを読む

注目記事をもっと見る

「やんばる」を知っていますか？

沖縄本島北部地域は、古くから「山原（やんばる）」と呼ばれています。東洋のカラバコスと称されるこの地域には、亜熱帯の森林が広がり、ヤンバルクイナやノグチゲラに代表される世界的に貴重な野生生物が生息しています。他にも、沖縄海岸国定公園に指定されている西海岸や美しい海浜、河口域に広がるマングローブ林など豊かな自然の魅力を体験することができる地域です。

やんばるの新たな魅力を紹介します！

やんばるへでかけませんか？
"半島をめぐる女子旅"や"大自然を満喫する旅"、"3つの離島を巡って島の魅力を発見"など沖縄北部を満喫する旅の魅力を紹介。観光スポットや地元のお店を動画でお届けします。

「沖縄北部4つの旅日記」動画はこちら



~半島一周分の幸せ~ in やんばる本部半島エリア

本部半島・伊江島の自然をアウトドアスポーツで体験

真ら海水族館をはじめ、主要な可能施設が立地していますが、実は自然環境も特微的で豊かな場所です。沖縄の本当の自然美ら海、緑の大地を体験してみませんか！アウトドアスポーツ/モニターツアーの様子を動画で紹介します。

「アウトドアスポーツ/モニターツアー」動画はこちら



今泊シーカヤック

↑

～お知らせ Information～

2016年1月20日
やんばるをもっと知ってもらうためのアンケートに応募しよう！...続きを読む

2016年1月8日
センスあふれる新しい雑貨屋さんが名護市営市場にオープン年の瀬押し迫る2015年12月...続きを読む

お知らせ一覧へ

ドライブテーマから探す

やんばるの旅は笑顔に出会う旅でした
沖縄北部を巡るためのドライブ&お店ガイド



2回目の沖縄なら押さえない通のやんばる旅

01 やんばるの王道をめぐる旅

02 海と森のパワーをチャージするやんばるGIRLになる旅

03 自分の限界を超えるにふさわしい場所—やんばるの自然が舞台

04 沖縄本島から離島旅

05



標高172mの城山(くすくやま)が島の真ん中に有名なゆり祭りを始め四季折々の花が咲く「伊江島」美しいフクギ並木や石垣、赤瓦の集落を残し、歴史的人物尚円王ゆかりの島でもある「伊是名島」

図表 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトトップページ③



の島でもある「伊是名島」
沖縄県の最北端。白いパウダーサ
ンドの米崎ビーチ、エメラルドグリー
ンの海と豊かな自然に抱かれる「伊
平屋島」

05 のスポット情報を見る

おすすめのスポットや沖縄・やんばる情報を検索する

キーワードを入力してやんばるの魅力を発見しよう！

※調べたいキーワードを一つ入力することで単語検索が可能です。検索したいキーワードを入力してください。

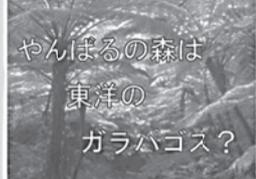
人気のトピックスから選ぶ

観光マップ・リーフレット



ダウンロードはこちらから >

やんばるの森ば
東洋の
ガラハゴス？



やんばるの自然について >

沖縄の一部に残る
珍しい伝統行事について



珍しい伝統行事を知る >

やんばるへてかけよう♪
ようこそ！
本当のやんばるへ

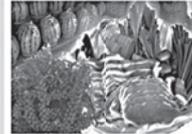


やんばるとは？ >

やんばるのまめ知識を読む



自然との共生・風水思想
集落立地 山岳地域が卓越する
北部地域では、集落は海岸
の狭小な低地や斜面地に...続き
を読む



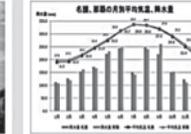
医食同源・薬食同源の思想
で築かれた健康長寿！
伝統的な沖縄の食生活を日本
本土と比較してみると、日本
食と共通の特徴の他に次のよ
う...続きを読む



色濃く残る沖縄の伝統文化
ー自然と共生する暮らしの
知恵
北部地域では、中南部と比較
して沖縄の伝統的な居住環境
が残されています。住居及び
正...続きを読む



自然と祖先を崇め、ニライ
カナイからの豊穡を折る！
北部地域は亜熱帯の自然環境
や空と海が美しいことで知ら
れますが、毎年襲来する台
風、...続きを読む



那覇よりやや涼しく過ごし
やすい？
沖縄は琉球諸島の西側を北流
する黒潮の影響を受け、夏
で四季の寒暖差が小さい程
や...続きを読む

やんばるのまめ知識をもっと見る

観光協会facebook記事一覧



2016/03/09
宜野座村では、阪神タイガ
ース以外にも、韓国...
一般社団法人 宜野座村観光
協会



2016/03/08
3月4日（金）～3月5日
（日）池袋waccaにて行わ...
一般社団法人今帰仁村観光協
会



2016/03/07
【クメノサクラ】3月8日現
在 だいたい咲いてき...
一般社団法人 本部町観光協
会



2016/03/06
WEBマガジン「オルタナS」
さんに、今帰仁村大...
一般社団法人今帰仁村観光協
会



2016/03/05
ニュースウォーカーさんにも
「沖縄 今帰仁 絶...
一般社団法人今帰仁村観光協
会

図表 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトトップページ④



2016/03/05
【会員情報】 今日はお磯の



2016/03/04
池袋Wacca「沖縄 今帰仁絶



2016/03/04
コロカルさんにも取り上げて



2016/03/04
産経ニュースでも取り上げて



2016/03/04
今帰仁村健康長寿体験滞在型

Facebook



facebookページを見る

関連情報



沖縄県
OKINAWA PREFECTURE

沖縄県の県政トピックス、知事の日程とギャラリー



やんばる旅ナビ
YAMBARU TRAVEL

沖縄北部の旅行ガイド情報を集めたポータルサイト



イチャダースネット

沖縄県北部12市町村をつなぐ、総合ポータルサイト



一般財団法人
沖縄コンベンションビューロー
Okinawa Convention & Visitors Bureau (OCVB)

沖縄観光情報サイト

サイトマップ

各市町村ホームページ

- 各市町村リンク集
- 今帰仁村
- 伊平屋島
- 伊是名島
- 伊江島
- 名護市
- 国頭村
- 大宜味村
- 宜野座村
- 恩納村
- 本部町
- 市村

当サイトについて

- サイトについて
- プライバシーポリシー
- やんばる観光連携推進事業とは

やんばるニュース

- やんばるとは？
- やんばるをドライブ
- やんばるの案内ガイド
- やんばるの歴史
- やんばるのスポーツ

やんばる観光お役立ちサイト

- 沖縄県公式ホームページ
- やんばる旅ナビ
- イチャダースネット
- 沖縄観光コンベンションビューロー
-